

入場無料

経営の未来 ～ 京都から～

これからの企業経営のあり方は、どうあるべきか？
京都ならではの経営の可能性は？

答えはここにあります。

京都ビジネス交流フェア2008（2日目午後）

日時 平成20年2月22日（金）13:30～16:00

会場 京都府総合見本市会館【パルスプラザ】稲盛ホール(定員500名)
京都市伏見区竹田鳥羽殿町（地下鉄・近鉄竹田駅から無料シャトルタクシーを運行します）

主催 (財)京都産業21 (社)京都経営・技術研究会

共催 京都商工会議所 京都経営者協会 (社)京都経済同友会 (社)京都工業会

パネルディスカッション 企業経営における「京都」の発展可能性について

パネラー

エンノ・ベルト 氏 立命館大学経営学部教授
ベルリン・フンボルト大学院政治経済学研究科博士過程修了。日独の企業における企業文化・企業統治・経営戦略・戦略的マーケティングを研究

竹中 秀樹 氏 オムロン(株) 本社グループ戦略室主幹
長岡技術科学大学を卒業後、オムロン(株)へ入社。各種電子機器の開発業務を経て、現職の経営戦略部にてオムロングループのグローバル業務運営に従事

辻 理 氏 (株)サムコ 代表取締役社長
立命館大学理工学部卒業、分析機器メーカーを経て、1979年(株)サムコインターナショナル研究所(現サムコ(株))設立、代表取締役社長に就任

村山 裕三 氏 同志社大学大学院教授
ワシントン大学経済学Ph.D
野村総合研究所勤務を経て、現在は同大で技術政策、文化ビジネスについて研究

コーディネーター

中野 勝仁 氏 (株)京都総合経済研究所 常務取締役
立命館大学法学部、同志社大学商学部卒。1969年(株)京都銀行に入行。調査業務を長く経験され、2000年に京都銀行のシンクタンクである(株)京都総合経済研究所に転籍。現在常務取締役調査部長。

京都では独自の経営のスタイルを打ち出し、国際社会の中で確固たる地位を築いている企業が多くあります。

また、京都には経営学を専門とする優れた研究者も多いことから、京都産業21では両者による忌憚のない意見交換の場として「経営の未来検討委員会」を構成し、激動の時代における企業経営、その中で、京都がどういう意味を持つのかについて議論を進めてきました。

今回、その集大成として、京都ならではの経営のあり方を提案します。

お問い合わせ・お申し込み裏面
財団法人京都産業21 経営革新部
Tel 075(315)8848
e-mail keieikikaku@ki21.jp

FAX送信先：075-315-9240

年 月 日

パネルディスカッション
「経営の未来～京都から～」

会場整理の都合上、お手数ですがお名前等差し支えない範囲で下記に御記入いただき、FAX（又は電話）をお願いいたします。

申込み 担当者名	
連絡先	〒 TEL : FAX : E-mail :
参加登録者	
氏名	
氏名	
氏名	

本申込書により取得した個人情報は、申込内容の確認、当財団事業に係る、連絡・案内などのために利用します。ご本人の承諾無く開示・第三者へ提供することはありません。

お知らせいただいた連絡先に今後、（財）京都産業21が主催する催し物等の御案内をさせていただきます。よろしいでしょうか？

希望する または 希望しない
希望するで、FAX又はEメールで御案内します。

【お問い合わせ】 財団法人京都産業21経営革新部（後守又は小倉）
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134
TEL 075-315-8848 /E-mail:keieikikaku@ki21.jp

FAX送信先：075-315-9240